

第4回（平成27年度）苫小牧市スポーツ推進審議会 議事録

日 時	平成27年9月30日（水） 18:00～19:00
場 所	市役所5階 第2応接室
出席委員	大村委員、斎野委員、島崎委員、須藤委員、田中委員、長岡委員、中村委員、 本間委員、前田委員、丸山委員 (敬称略、五十音順)
事 務 局	総合政策部 スポーツ推進室
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 総合政策部長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>(1)「苫小牧市スポーツ推進計画(案)」について 【資料1】</p> <p style="padding-left: 2em;">ア <第3章> 計画の基本的な考え方</p> <p style="padding-left: 2em;">イ <第4章> 施策と主な事業展開</p> <p>4 その他</p> <p>(1) 新ときわスケートセンター騒音問題について</p> <p>5 閉会</p>

発言者	発言内容
事務局	<p>定刻となりました。委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>ただいまから「第4回 苫小牧市スポーツ推進審議会」を開催いたします。</p> <p>はじめに部長挨拶ですが、他の公務があり欠席させていただきます。</p> <p>ここで会議の成立についてご報告いたします。</p> <p>本日は、委員12人中、10人が出席されております。過半数以上の出席でございますので、会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>それでは、これより議事に入らせていただきますが、審議会条例の第4条第3項に従いまして、丸山会長に議長をお願いいたします。</p> <p>丸山会長、お願いします。</p>
丸山会長	<p>では、ここから私が進行をさせていただきます。</p> <p>早速ですが、次第3の議事に入ります。</p> <p>(1)「苫小牧市スポーツ推進計画(案)」ア<第3章>計画の基本的な考え方について、<第4章>施策と主な事業展開について事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>前回の第3回審議会で推進計画の<第1章>計画の策定にあたってと、<第2章>スポーツを取り巻く環境と課題についてご審議いただきましたが、本日は<第3章>基本的な考え方と<第4章>施策と主な事業展開について、ご審議していただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、お手元の資料1に沿って説明させていただきます。</p> <p><第3章>計画の基本的な考え方についてご説明いたします。</p> <p>最初に21ページ1の「基本的な考え方」でございますが、基本理念として掲げたテーマを実現するために、<第1章>と<第2章>を踏まえスポーツ都市宣言で示しています4つの柱を目標として掲げて施策を推進していきます。</p> <p>下の図は、計画の基本的な考え方のイメージ図を記載しております。</p> <p>次に、22ページ2の「計画の目標と方針」についてでございますが、1つ目の目標として「市民すべてがスポーツを楽しみましょう」ということで、スポーツの役割や全ての市民がスポーツに参加できるレクリエーション、ニュースポーツを展開してスポーツの楽しさを実感していくこと、また、スポーツを</p>

事務局	<p>観る機会の充実、スポーツを支える人たちの研修機会の充実や体制整備について記載しております。</p> <p>下段には、目標1の方針として、ライフステージやそれぞれの適性等に応じたスポーツ活動を推進すること、する人・観る人・支える人など多様な参加形態のスポーツ活動を推進することの2つの項目を記載しております。</p> <p>次に、23ページ2つ目の目標として「力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう」ということで、市民の誰もが安全で快適にスポーツを楽しめるような場を提供していくために、既存施設の改修や再整備を進め魅力ある施設を目指すこと、また民間スポーツ事業者や大学との連携で市民が気軽にスポーツに携わる環境を整備してスポーツへの参加を推進することを記載しております。</p> <p>下段には、目標2の方針として、安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備を進めること、民間のスポーツ事業者等（や大学に訂正）と協力して市民のスポーツ参加を促進することの2つの項目を記載しております。</p> <p>次に、24ページ3つ目の目標として「次代をになう青少年のため、地域にも職場にもスポーツの機会をつくりましょう」ということで、子ども達のためにスポーツをする機会の場をつくるために地域や職場で取り組むこと、氷上スポーツの人口が減少してきていることから、地域での氷上スポーツの推進を促進していくこと、スポーツ推進委員やボランティア活動者、各競技団体の指導者のための研修会や講習会を行い、質の高い指導や適切な対応ができる指導者を養成することを記載しております。</p> <p>下段には、目標3の方針として、地域や職場等におけるスポーツへの参加機会（の取り組みを推進します。に訂正）をつくること、地域等で活躍できるスポーツ指導者を養成することの2つの項目を記載しております。</p> <p>次に、25ページ4つ目の目標として「世界に活躍できる市民を育てて広く世界の人と手をつなぎましょう」ということで、スポーツ合宿や大会の誘致を積極的に行い、プロスポーツ選手やオリンピック等のトップアスリートとの交流の場をつくり、青少年に夢と希望を与え次世代のアスリート育成につなげることで、また次世代のアスリートを育てるために街全体がひとつになり応援する体制づくりを目指すこと、大学と連携をとってスポーツ資源の活用や、地域スポーツとの連携を図ることを記載しております。</p> <p>下段には、目標4の方針として、競技スポーツを支え国内外で活躍できる選手を育み応援すること、スポーツ合宿や大会の誘致を行い、交流や情報発信等の機会をつくること、大学の2つの項目を記載しております。</p> <p>上段の説明で、下段の方針の順に合わせて3行目から6行目と7行目から8行目を入れ替えたいと思いますので訂正をお願いいたします。</p>
-----	--

事務局	<p>次に、3の「数値目標の設定」についてでございますが、本計画は10年の計画で考えているため、5つの数値目標を基本となる現在の実施率から10%から16%増、5つ目のスポーツ都市宣言に関しては約33%増を努力目標として設定し、10年後の目標達成のために施策を展開していこうと考えております。</p> <p>基本となる指標については、今年の1月に行ったアンケート調査の数値を使用しています。</p> <p>1つ目に、18歳以上の市民の70%が週1回以上運動を行うこと</p> <p>2つ目に、18歳以上の市民の40%が市や地域のスポーツ行事に参加すること</p> <p>3つ目に、18歳以上の市民の50%が年1回以上スポーツ施設で観戦すること</p> <p>4つ目に、18歳以上の市民の20%がスポーツボランティア活動を行うこと</p> <p>5つ目に、スポーツ都市宣言を行ったまちであることを80%の市民に知ってもらうこと为目标を設定し、事業を展開していきたいと考えております。</p> <p>次に、27ページ4の「関係部署との連携」についてでございますが、スポーツ振興は様々な分野に関係していることから、関係部署との横断的な取り組みについて記載をしております。</p> <p>下段には、関係部署との連携イメージ図と、関連部署の各種計画について記載をしております。</p> <p>次に、28ページ<第4章>施策と主な事業展開についてご説明いたします。28ページでは、1の「施策の体系」ということで記載をしております。</p> <p>次に、29ページ2の「各方針に対する具体的な施策」についてでございます。関係部署との調整が必要となりますので、主な事業展開につきましては、現時点で考えられるものを記載をしておりますのでご了承ください。</p> <p>最初に、目標1の方針1-1の施策①子どもがスポーツに親しむ機会をひろげますですが、ここでは子ども達の健康な身体づくりや体力の向上などについての事業を記載をしております。</p> <p>次に、30ページ施策②高齢者・障がい者がスポーツを楽しむ機会をひろげますですが、ここでは高齢者や障がい者が参加できる事業について記載をしております。</p> <p>次に、31ページ施策③ニュースポーツの振興を図り誰でも気軽にスポーツを楽しむ環境をつくりますが、ここでは子どもから高齢者まで誰でも取り組めるニュースポーツを普及するための事業を記載をしております。</p>
-----	--

事務局	<p>次に、32ページ方針1-2の施策についてですが、施策④スポーツに関する情報を発信しスポーツへの参加をサポートしますが、ここではスポーツ施設の利用情報やイベント情報の発信についての事業を記載しております。</p> <p>次に、33ページ施策⑤スポーツ観戦の機会をつくり感動や一体感を共有しますが、観るスポーツを促進するために市民の関心が高い競技を把握し、本市での開催を誘致しスポーツを観る機会を提供するための事業を記載しております。</p> <p>次に、34ページ施策⑥スポーツボランティアを推進しスポーツを支える輪をひろげますが、スポーツ活動を続けていく上でスポーツ推進委員やスポーツボランティアの存在は重要であることから、人材育成と支援の推進をするために活躍の場をつくり、また研修会や講習会を行い指導力の向上とプレーヤーの安全確保のための事業を記載しております。</p> <p>次に、35ページ目標2の方針2-1の施策⑦スポーツ施設を整備し安全で快適なスポーツ環境をつくりますが、既存施設の有効活用を推進するために、利用形態や機能を見直し効果的に利用できるように施設の改修や整備をしていくための事業を記載しております。</p> <p>次に、36ページ方針2-2の施策⑧民間のスポーツ事業者や地元大学と連携し市民のスポーツ参加を促進しますが、市のスポーツ施設は指定管理者制度を導入しており民間事業者の能力やノウハウを活用し自主的な事業を展開し市民サービスの向上、市民がスポーツに参加できる機会の提供に努めること、苫小牧駒澤大学と連携を図り大学のスポーツ資源の活用や地域スポーツとの連携によって市民のスポーツ参加の推進についての事業を記載しております。</p> <p>次に、37ページ目標3の方針3-1の施策⑨身近な地域や職場等でスポーツに参加できる機会をつくりますが、地域や職場でのスポーツ活動において、新しい仲間づくりや交流を行い地域コミュニティの再生と、子ども達がスポーツの魅力や楽しさを感じる機会の提供をするための事業を記載しております。</p> <p>次に、38ページ施策⑩氷上スポーツへの参加を推進し地域のスポーツ文化として振興しますが、「氷都とまこまい」のスポーツ文化を次世代へつないでいくための事業を記載しております。</p> <p>次に、方針3-2の施策⑪身近な地域等で活躍するスポーツ指導者を養成しますが、スポーツ指導者に必要な指導力を育成するための事業を記載しております。</p> <p>次に、39ページ目標4の方針4-1の施策⑫競技スポーツの活動を支援し競技力の向上を図りますが、小中高校生が安心して全道大会や全国大会に</p>
-----	--

事務局	<p>参加できるように遠征費を助成し、ハイレベルな大会に参加して技術力の向上を期待すること、またスポーツ教室を開催し競技力の向上を図ること、さらに国際交流を深めるためにアイスホッケー競技を通じた交流会の実施等についての事業を記載しております。</p> <p>主な事業展開の4アイスホッケー競技NTC事業の強化を推進に訂正したいと思いますのでよろしくをお願いします。</p> <p>次に、施策⑬アスリートを育み応援することでまちの誇りと一体感を醸成しますが、本市出身のアスリートを市民みんなが一体となって応援するための事業を記載しております。</p> <p>次に、施策⑭トップアスリートとふれあう機会をつくり子どもの夢を育みますですが、本市にゆかりのあるトップアスリートやスポーツマスター、プロスポーツのアスリートとふれあえる機会を設けるための事業を記載しております。</p> <p>次に、方針4-2の施策⑮スポーツ合宿の誘致を行い市民との交流を図りますが、苫小牧市大会等誘致推進協議会による合宿誘致活動を実施し、本市の様々な優位性をPRしてトップアスリートとの交流を図るための事業を記載しております。</p> <p>次に、施策⑯スポーツ大会の誘致を行いまちの魅力を発信しますが、各競技団体と連携を図り本市での全道大会や全国大会の開催に向けた取り組みについての事業を記載しております。</p>
丸山会長	<p><第3章>計画の基本的な考え方、<第4章>施策と主な事業展開について、説明がありましたが、ご質問等はございますか。</p>
本間委員	<p>5つの数値目標が設定されていますが、目標値に対して中間検証をしたりするのででしょうか。</p>
事務局	<p>第1章の内容にも記載しておりますが、数値目標については、中間年で検証する予定となっております。具体的には5年後を示しており、その際に再度アンケート調査業務を行う予定です。</p>
須藤委員	<p>1つ目に、23 ページ「目標2」4行目の表現の中で、「魅力ある施設整備を目指します」とありますが「魅力ある施設を目指します」という表現でいいのではないか。</p> <p>2つ目に、39 ページの施策13 に関係することだとは思いますが、私の白鳥王子アイスアリーナでの経験の中で、スマイルジャパン（女子アイスホッケー</p>

<p>須藤委員</p>	<p>日本代表) がソチオリンピック出場の際、応援メッセージ発信などは非常に好評で盛り上がりました。それに伴い、直近で行われるリオオリンピックやピョンチャンオリンピックでも継続して行っていくことは必要だと思います。</p> <p>また、市全体の一体感を醸成するという点では、パブリックビューイングも実施してもおもしろいと思います。</p> <p>3つ目に、来年の具体的な事業政策のようなものは別に作るのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>1つ目の点は、ご指摘のとおり表現を訂正いたします。</p> <p>2つ目の応援メッセージの発信、パブリックビューイングの実施についても、検討していきたいと思ひます</p> <p>3つ目の事業政策については、細かい事業計画についても作成し、今後毎年事業検証しながら皆様にお示しできればと思っております。</p>
<p>丸山会長</p>	<p>1つ目に 37 ページに「スポーツの魅力や楽しさを感じる機会の提供を推進します」とあるが、「スポーツの魅力や楽しさを感じる機会を創出します」といった表現にした方が良いと思ひます。</p> <p>2つ目に、32 ページに「スポーツ施策に関するホームページの充実」とありますが、個人的な意見として、直近1カ月くらいの市内で行われる中学、高校、大学、社会人の試合、スポーツイベントについてはもっと積極的にアピールしていくべきかと思ひます。身近でいいレベルの試合を見ることは、子ども達の競技力向上にも繋がっていくかと思ひます。</p> <p>3つ目に、36 ページの「大学との連携」という点ですが、私も以前から駒澤大学の運動施設について、平日の日中にあまり使われていないという現状からも、もっと市民に幅広く知ってもらい、使って行ってほしいと考えております。</p> <p>(主婦のスポーツ教室や解放事業などで)</p> <p>市の方からもそういったご提案があれば、私も積極的に動いていきたいと考えておりますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>他にないようでしたら、前回実施した第1章、第2章の訂正箇所について、事務局からお願ひいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>前回の審議会でご審議いただきました内容を、<第1章><第2章>に反映させていただきましたので、お手元の資料をご確認いただきたいと思ひます。</p> <p>また、テーマについて案として「活気みなぎるスポーツ都市とまこまい」と示させていただきましたが、委員の皆様から何か案はありませんでしょうか。</p>

前田委員	「活みなぎるスポーツ都市とまこまい」となっていますが、一目見たときにとまこまいがわかりにくいので、「活みなぎる『スポーツ都市』とまこまい」にしてどうでしょうか。
全体	とても良いと思います。テーマはこちらでいきましょう。 それと、字体についてはもっと候補を挙げてから選んだ方がよろしいのではないのでしょうか。
事務局	次回の審議会までに、何個か候補を作成し、皆さんにお示したうえで決定したいと思いますので、よろしく願いいたします。
丸山会長	続いて、次第5の「その他」新ときわスケートセンターの騒音問題について事務局より説明をお願いいたします。
事務局	<p>第3回審議会でもご説明させていただきました、新ときわスケートセンターの騒音問題の今後の対応について説明させていただきます。</p> <p>6月の定例市議会や新聞でも取り上げられておりました騒音問題についてでございますが、同スケートセンターは昨年9月に完成し、多くの市民に利用されておりましたが、昨年12月に近隣住民から、バックがフェンスにぶつかる音がうるさいなどの苦情が市に寄せられました。</p> <p>担当課で騒音測定器を設置して計測したところ、法で定める環境基準はクリアされるものの、公害防止条例の騒音規制基準を超える音が確認され、6月より早朝と夜10時以降の施設利用を制限するという事で近隣住民、利用者の方々に説明し、対応しておりました。</p> <p>以上の経過からも早急な改善が求められており、今月の市議会で補正予算が可決され防音改修工事に着手する方針を固めました。先日、周辺住民には挨拶を兼ねて個別に説明を行い明日10月1日から工事着手、約2ヶ月間施設閉鎖することとなります。</p> <p>工事内容としては、従来の断熱鋼板サンドイッチパネルを使った壁の内側全面に10センチほどの隙間を取り、吸音材のグラスウールを入れるなど複合的な構造にした防音壁を設けるといった内容になり、工事費38,664千円となっております。</p> <p>改修工事終了後に、再度関係部署と現地確認を行い、近隣住民、利用者にとって利用しやすい施設になるよう今後も対応していきたいと思っております。</p>

丸山会長	<p>新ときわスケートセンターの騒音問題について説明がありましたが、この件に関してご質問等がございますか。</p> <p>無いようですので、全体を通して皆様から他にご意見ありますでしょうか。</p>
中村委員	<p>先日全道スポーツ推進委員競技会の中で清水宏保氏の話でもありましたが、総合型地域スポーツクラブの運営については、運営資金、指導者の確保といった問題からも難しい状況が続いていると聞いています。</p> <p>指導者という点からも、現在の苫小牧では本間委員含めスポーツマスターという制度があるので、せっかくいらっしゃるスポーツマスターの方々を交えながら進めていく必要があると感じています。また、スポーツマスターの方々については、もっと活躍できる場を創出してもよいのではないかと考えています。</p>
本間委員	<p>スポーツマスターについては5年間の任期となっており、私含め5名の方々が任命されている状況です。私については、年1回のアイスホッケー教室を実施している状況です。私も今後の「実技講習」については、年齢的な問題も含めて、後世代の指導者に引き継いでいかななくてはいけないと思っております。</p>
丸山会長	<p>本間委員については、アイスホッケー教室の「実技講習」の点で活躍されていると思いますが、他に講演や氷上以外の場所での活動はないのですか。</p>
本間委員	<p>毎年、教室を行う中で、スポーツ推進室と内容を検討したうえで実施している状況です。スピードスケート競技の山中宏美スポーツマスターについては、講演などの活動をしていたかと思えます。私の個人的な意見としては、指導者に対する指導というものが今後必要と感じています。</p>
中村委員	<p>平成12年の本間委員がスポーツマスターとして就任して以来、誰も選ばれていない状況ですが、これから何か動きはあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>本間委員を含めまして、スポーツマスターにご就任されるにあたっては、「オリンピックその他の国際的又は全国的な競技会等において輝かしい活躍をし、本市のスポーツの普及振興に寄与していると認められる者」といった厳しい基準が設けられており、そういった点でも選出、就任が足踏みしている状況でございます。</p> <p>近年市内出身でご活躍されている選手としましては、卓球の丹羽孝希選手、水泳の佐藤久佳選手が挙げられるのではないかと思います。今後こういった選</p>

事務局	<p>手たちが益々の活躍をし、今後スポーツマスターとして活動できないかと考えております。</p> <p>現在就任されている5名のスポーツマスターの方々の活動内容につきましても、よりよい事業になるよう、今後再検討させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p>
齋野委員	<p>私はスポーツマスター制度設立に関わった人間なのですが、現在の5人のスポーツマスターを含めまして、苫小牧にも世界に通用するトップアスリートがたくさんいらっしゃいます。</p> <p>年1回の活動だけでなく、もっと活躍できる場を作ることが、苫小牧市のスポーツ行政を盛り上げて行くためにも必要かと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
丸山会長	<p>他に無いようでしたら、これで終了させていただきます。</p> <p>それでは、進行を事務局にお返しいたします。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>丸山会長、ありがとうございました。</p> <p>次回の審議会は12月を予定しております。詳細につきましては、あらためてご連絡させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、これをもちまして「第4回 苫小牧市スポーツ推進審議会」を閉会いたします。</p>